

令和4年5月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,512	8,798	4,470	4,328	51	41
2 千 石	3,932	6,644	3,412	3,232	27	26
3 内 山	5,554	7,862	4,186	3,676	28	22
4 大 和	3,420	6,627	3,248	3,379	75	100
5 上 野	7,400	15,460	7,574	7,886	87	99
6 高 見	7,285	13,254	6,313	6,941	88	108
7 春 岡	6,841	10,961	5,742	5,219	48	31
8 田 代	11,202	21,772	10,386	11,386	56	72
9 東 山	10,255	19,180	9,363	9,817	42	39
10 見 付	4,509	8,366	4,199	4,167	94	137
11 星 ケ 丘	3,524	6,824	3,032	3,792	27	37
12 自 由 ケ 丘	3,564	7,284	3,290	3,994	8	1
13 富 士 見 台	6,501	15,267	6,948	8,319	9	27
14 宮 根	3,786	8,085	3,726	4,359	25	40
15 千 代 田 橋	3,709	8,314	3,926	4,388	12	△ 3
千 種 区 計	86,994	164,698	79,815	84,883	677	777
R3. 5. 1	86,841	164,984	80,002	84,982	491	599
対 前 年 比	153	△ 286	△ 187	△ 99	186	178
名 古 屋 市	1,137,035	2,322,941	1,140,430	1,182,511	5,326	4,956
愛 知 県 (R4. 4. 1)	3,266,593	7,489,040	3,729,189	3,759,851	9,681	△ 8,835

前月中の 増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	71	121	△ 50	2,148	1,321	827

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,598 (昭和50年2月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015	最小人口	146,727 (平成11年4月1日)
平成7年	148,847	平成27年	164,696		
平成12年	148,537	令和2年	165,245		

注) 学区別の世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果の本市独自集計速報値であり、後日総務省から公表される数値と異なる場合があります。

千種区の世帯数と人口増減の概況

今回は千種区の世帯数と人口増減の内訳を学区単位で見えていきます。

令和3年10月現在の千種区の学区別世帯数は、多い方から田代学区（11,208世帯）、東山学区（10,322世帯）、上野学区（7,382世帯）となっています。世帯増加率（対平成24年10月比）を見てみると、千種区全体では7.0%で名古屋市全体（9.8%）を下回っています。千種区の学区別世帯増加率を大きい順に並べると、千石、内山、高見、千種、自由ヶ丘、春岡学区の順になります（図1）。

また、令和3年10月現在の千種区の学区別人口数は、多い方から田代学区（21,886人）、東山学区（19,352人）、上野学区（15,488人）となっています。人口増加率（対平成24年10月比）を見てみると、千種区全体では2.1%で名古屋市全体（2.6%）を下回っています。千種区の学区別人口増加率を大きい順に並べると、内山（+13.4%）、春岡（+8.9%）、高見（+7.2%）、千種（+6.8%）、東山（+4.1%）、自由ヶ丘（+3.8%）学区の順となっています。

図1：千種区の学区別世帯増加率上位3学区（対平成24年比） 各年10月1日現在

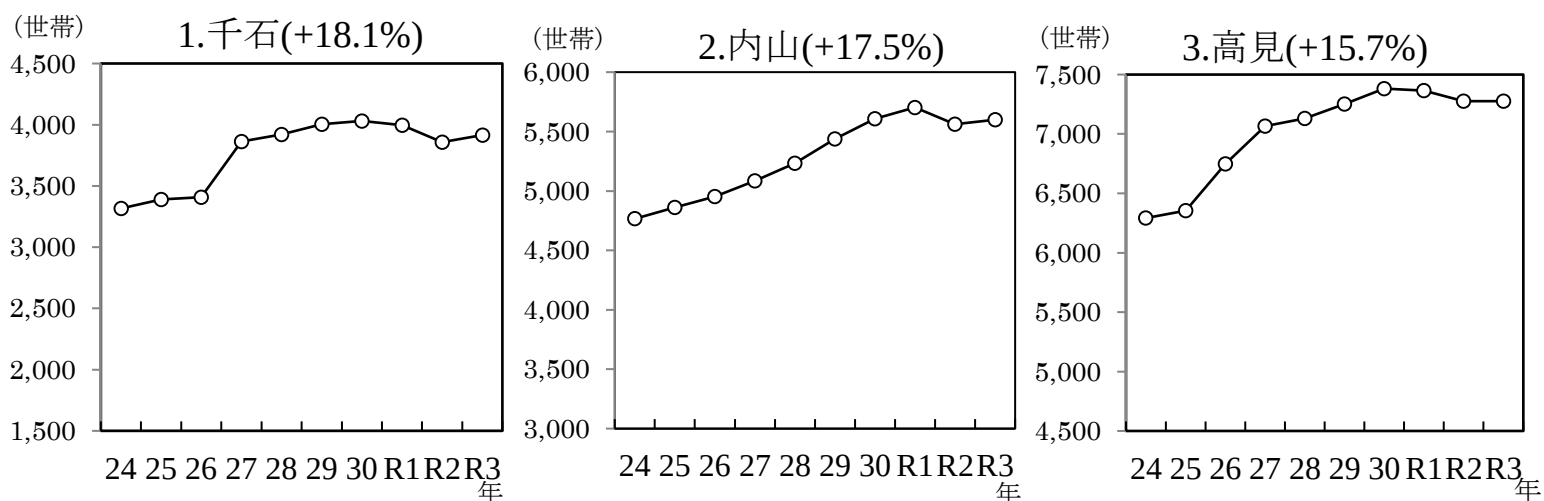


図2：千種区の学区別人口増加率上位3学区（対平成24年比） 各年10月1日現在

